

夢（ゆめ）

文責 校長 池田 新

－ 自立の精神に満ちた豊かな人間力の育成 －

1 12月24日の全校集会で「目標設定の意義と努力」について話しました

令和2年を有意義に過ごすための目標が設定できるように、今年を振り返ることで「努力して成長したこと」「謙虚に今の課題を意識すること」の重要性を具体的に振り返る機会として話しました。

【あいさつが、自ら進んで、笑顔で、大きな声でできる】

朝の挨拶に清々しさを感じる機会が増えました。大きな声で、自ら進んで、笑顔で挨拶することは、良好な人間関係の構築や魅力的な人柄になります。社会でも重要です。高校の先生から「立ち止まって、自ら進んで、元気よく挨拶する生徒に感心しました。」と褒められました。「川中生の挨拶は素晴らしい」と伝統になることを願っています。

【まじめな授業態度で「生きる力」の基盤となる学力を高める】

「話をきちんと聞く」「友達と話し合い高め合う」ことは学び方の基本であり、「生きる力」につながります。希望進路の実現にも必要不可欠ですし、広い視野での判断力につながります。知的好奇心の体得にもなり、個性の伸長や有意義な人生を送る糧にもなります。公開授業時に「川中生は学習規律が素晴らしい」「主体的に学ぶ姿に感心する」と称賛されました。「主体的・対話的で深い学び」につなげたいものです。

【文武両道で心も体も頭も鍛えて、「豊かな心」を育成する】

文化面・スポーツ面で活躍する生徒が増えています。「自己実現」につながる「個性の伸長」に向けて一生懸命に努力している成果です。努力の過程と共に努力の成果として評価します。勝利をめざした真剣な練習が勝利の喜びや負けた悔しさとなり頑張りにつながります。得意分野での活躍や他の人から学び取ることで成長し合う川登中を期待します。

【部活動に主体的・意欲的に取り組む】

帰りの会終了後に素早く練習を開始して短い練習時間を充実させています。「短時間の練習時間を集中して充実させる意識と実践が重要である。長時間になるとどこで力を抜いてサボろうか、を考えてしまう。」とテレビ番組で全国大会上位入賞校が紹介されていました。この「時間の有効利用」は何事にもいえることです。時間を大切に生きる方を大切にしたいものです。

年末は、大掃除や年始の準備など猫の手も借りたいほど忙しい時期です。「家族の一員として率先して手伝いをしよう。」と話しています。

振り返りを来年の目標設定に活かし、更に成長する術を伝えました。

- ① 自己目標を本気で抱く。
- ② 実現に向けた努力を行う。
- ③ 努力の過程で俯瞰して改善点を謙虚に考える。
- ④ 成果が出るまで努力を継続する。

ご家庭でも「**来年度の目標や抱負**」を話し合ってください。

2 12月7日に「土曜等開校」を行いました

「ふれあい道徳」は、佐賀県の教育方針である「心の教育」として道徳の授業を公開しています。学校教育目標の「豊かな人間力」の育成の要である道徳心を高める授業をめざして公開しました。

「コスモス講演会」は、地域活性化いじめ撲滅プロレス実行委員会のプロレスラー将火怒氏を迎えて「いじめの怖さや命の大切さについて」の演題で、自らの経験を踏まえて「友達を見守ってほしい」「家族と会話をしてほしい」「夢を持ってほしい」「命の重要性」など自分も他人も思う心や優しさを大切にすることになってほしいと感動的に話していただき「人としての生き方」を心底考える時間となりました。

「クラスマッチ」は、男子も女子も先輩も後輩も気兼ねせず楽しく一生懸命に取り組んで、熱気ある声援がありました。保護者の方も「和気あいあいとした川中生っていいですね。」と微笑まれていました。

3 第36回佐賀県中学校バドミントン新人大会で入賞しました

【第1位（男子ダブルス）】野田春翔、中尾拓稜（2年）

4 第15回各町対抗駅伝大会で川中生が入賞しました

区間賞【第1位（8区）】梅津 翔（2年）

【第3位（1区）】野田涼月（3年）

【第6位（2区）】坂口奈々美（3年）

ロードレース男子（2.1km）

【第1位】庭木秀成（2年）7分11秒

【第2位】西之川冬吾（1年）7分32秒

【第5位】野田武留（2年）7分40秒

【第7位】三ヶ島颯汰（2年）7分53秒

5 佐賀県中学校体育連盟から表彰を受けました

【模範競技者賞（男子ソフトテニス部）】釘抜晴生（3年）

6 第69回「社会を明るくする運動」作文コンテストで入賞しました

【入選】大宅真生（3年）

※ 学校通信は川登中学校HPにおいてカラーで見ることができます

(新) 川登中学校HP・・・<https://www.education.saga.jp/hp/kawanobori-j/>